

ルーフ広宣

突撃!!

インタビュー

古今亭八朝師匠

「目の前の人を喜ばせる事が出来ないで50人、100人のお客様を喜ばせる事は出来ないよ！」



今日は、古今亭八朝師匠が大好きな北区の焼肉・金泉にお招きしての突撃インタビューです。



ルーフ それでは師匠に先ず伺います。今年、「どうすりゃいいのさ高齢者」でCDデビューされましたがこの歌がヒットして紅白歌合戦に出場したら、嘶家と歌手のどちらに今後、重点を置くんでしょうか？

八朝 そんなの歌手に決まっちゃあな！ だってお金の稼ぎ方が違うよ！ 冗談冗談（笑）。あのね、だけど落語は捨てられないな。そりゃ無理だよ！ 落語は好きだもの。歌はあくまで洒落だから。下手でも出せんのよ。僕は下手だと思ってるないけどね。个性的だと思ってるから（笑）。ルーフ 私も聞きましたけど、師匠のカラーが出ていて素晴らしいと思っています！ 本当に、この歌がヒットするのを願っています。八朝 有難うございます。

ルーフ それでは、その大好きな嘶家を目指したきっかけは何だったんですか？

八朝 高二の時、新宿にさそり座という映画館があつて、映画を見て映画館を出たら、その裏が末広亭という寄席だった。僕は寄席なんて知らなかったの。アンパン買って入ったら、夜の仲入りでね。プログラムに歌奴って入ってて、今の圓歌さんね。ところが登場したのは志ん朝師なんだよ。成程程、この人は落語やる時は志ん朝で、テレビに出る時は歌奴なんだと思つたね。その位、無知で落語知らなかったんだけど、上手いんだね！ これが！ 若くて格好よくて！！ よし、この人を追いかけようって追っかけているうちにハマっちゃつてね。それで嘶家になりたいと言つたら反対されたけど、どうしても嘶家になりたくてなつちやつた。

ルーフ そうでしたか！ それでは、天才と言われた志ん朝師匠とのエピソード等をお話し頂きたいのですが。八朝 あの真打になる時ね。試験制度の二期で、落ちたから師匠に辞めます！と言つたんだよ。そしたら、師匠は下を向いて考えてて、何でお前が辞めるんだ!?!と聞くから、看板

汚されたし、烙印押されたしと言うと、誰の弟子になったんだ？ 俺の弟子になったんだらう!?! 俺が辞めろと言う迄やると約束したろ？ うちね、5年以内に駄目だったら首にするよ！とね。師匠は既に俺を認めてくれてた！俺はその時、既に5年以上経っていたからね。師匠が、俺が駄目だ！と言っている訳じゃないんだから、いいじゃねえか。やれよ！と言われてね。俺はお前を悪い弟子とは思わない！とね。師匠が、お前は狭間に入つたんだ、俺が悪かった！と言われた時には涙が出たね。止まんなかったね！それから稽古しましたよ。

ルーフ いいお話ですね！

八朝 それで真打になった時にうちの師匠が泣いてくれてね。良かったな！お前！これから親孝行しろよ！と言われたら又、涙が出て来てね。

ルーフ それでは、尊敬する人物と言つたら、やはり古今亭志ん朝師匠ですよね？！

八朝 うちの師匠しかいないね！もう、今日あるのは師匠のお陰!! あれは入門して3週間位の時、丸山君（本名）、君は気を付けなさいいけない事が一杯あるけど、先ず一つは短気を直しなさい。この業界は短

気では駄目だよ。お客様が相手なんだからとすぐ見抜かれましたよ。やっぱり自分が尊敬している方だから言われればすぐ直しますよ。それでもまだ短気なんですけどね(笑)。師匠に巡り合わなかったら僕の人生、本当にどうしようもない人生だったね！うちの師匠は素晴らしい師匠でね。人間というのは縁を大事にしなきゃいけない。これを大事にすればお金という円も生まれる。もう一つはお陰様！という事。例えば、今こうやってインタビュー受けられるのもルーフ様のお陰ね！ご飯食べさせて頂けるのもお客様のお陰!! そういう風に必ず思いなさい!と言われたね。又、お前ね。目の前にいる人を喜ばせる事が出来ないで、50人、100人のお客様を喜ばせる事は出来ないよ。だから一番いいのは俺を喜ばしてごらん!! そう言われたよ。それが僕のある意味、総括だね。

ルーフ 含蓄深いお言葉ですね! もっと伺いたいのですが、誌面に限りがあるので、それでは日本の芸能で和洋折衷を言ったら、やはり落語とマジックだと思うんですが、師匠はどんなマジックがお好きでしょうか?



八朝 アタチ龍光という人が好きなんですよ。ネタバレしても平気!それは自分に自信が無いと出来ないでしょう? ネタバレしても平然と手順通りやってたよ。それが個性と自信だと思っただよ。

ルーフ 普通、マジックでネタバレしたら不味い!という感じですよね。ところで、師匠はマジックの一つや二つ覚えたいと思った事はありますか?

八朝 いや、無い!人のジャンルを犯すって事はしたくないから。異ジャンルを犯す。例えば俺が講談や浪曲やったら、失礼じゃない?!

ルーフ 分かりました。それでは、落語界から見たマジック界というのは、どう見えますか?

八朝 あのーこれ別に、インタビュースされているからじゃなくて、ルーフさんみたいな人がもつと自分を出してね。落語家と組んでもらいたいね。例えば寄席とか、二人会

だとかね。俺達はネタが一杯あるんだから、でもルーフさん達はネタを1回やると、アレ見た!と言われるから辛いよね。でも、やって行けば絶対に受けるね!

ルーフ そうですね!それと断家さん達はファン造りが大変にお上手なんですけど、マジシャンはどちらかというと苦手なんです。例えば、お客様の宴席に呼ばれた時、準備出来ない演目を勝手にリクエストされたら、ネタを聞かれたりする事への抵抗感があつて、これはマジシャンの宿命なのかもしれませんが、断家さんもお客様とのやりとりで何か具合が悪い事はないんですか?

八朝 それはね、人によっても違うけど、僕も聞かれるよ。笑点はネタがあるんですか? 台本あるんですか?と言われるけど、そんなのあるに決まってるよね。例えば謎かけって誰でも出来るんですか? つて聞かれたら誰でも出来ると言うよ。やり方があるんだよ。

ルーフ ちょっとそのやり方を聞いてもいいですか?

八朝 うん、謎かけというのは、考える順番があるんだよ。例えば、誰かがマジックとかけてと言うでしょう。すると〇〇と解くと皆、考える



よね。俺達はその心から考える。どう考えるかというところ、皆様がマジックをどう思うものと思うか? 例えば、タネがある、驚く、タネが分からねえという事でしよう? タネが分からないをその心に持つて行くと「マジックとかけて今のブドウと解く、その心は種が分からねえ」

ルーフ アッハッハ(笑)。お後が宜しいようで!

ルーフ それでは最後に師匠の未来への挑戦をお聞かせ下さい。

八朝 あたくしはですね。若手に限らず良い人を選んで育てたいね。例えば、一人で頑張っている人とか、

良い点が表に出てない人って沢山いるでしょう? そういう人達をどんな世に出すプロデューサーの様な事をやって行きたいですね。そういう事があっている様な気がするんですよ。その為にはお金も必要だけど、なかなか出資してくれる人がいないしね。この記事読んで出資してくれる人がいたら、宜しくお願いします!

ルーフ 分かりました(笑) 今後ともどうぞ宜しくお願いします! 本日は、お疲れのところ、長時間に亘るインタビュー、誠に有難うございました!

古今亭八朝 プロフィール

昭和45年3月 都立明正高校卒業

同4月 古今亭志ん朝に入門

昭和48年5月 前座「志ん吉」で浅草演芸ホール初高座

昭和50年11月 二つ目昇進「八朝」と改名

昭和59年9月 真打昇進

初高座・昭和48年5月

場所・浅草演芸ホール

演目・道灌

受賞・昭和57年3月 国立若手花形
新人賞銀賞

今までのレギュラー番組

TBSテレビ「高原へいらっしやい」

フジテレビ「円鏡のとんち塾」

JRN・ネット(ラジオ)「ヤング・ライン」
「口八丁歌謡曲」

KNBラジオ「八朝のジョイジョイ
富山・土曜ワイド」

「サンサンミュージック」他

テレビ朝日「あばれ! はっちゃく」

他TVドラマ出演

平成20年8月「どうすれやいいのさ
高齢者」で歌手デビュー!

